

オーケストラ演奏で町民を魅了
会場全体に美しい音色を奏でる

9月26日、第15回つべつ日本フィルセミナーと第24回日フィル子ども芸術の広場が中央公民館で行われました。今回行われたセミナー講習会には道内外の55人の受講生がプロの指導を受けました。

第1部では、セミナー受けた津別中学校吹奏楽部による演奏で福島弘和作曲の「星の天使」とヴェルディ作曲の「シチリア島の夕べの祈り」の2曲を披露。続いて日フィルメンバーとセミナー受講生の演奏では第15回を記念して招かれた富田珠里亞さんのピアノ演奏と共に、ラフマニノフ作曲の「ピアノ協奏曲第2番（全楽章）」を演奏。

第2部では、チャイコフスキー作曲の「交響曲第5番（全楽章）」を披露し、会場に訪れた観衆を魅了しました。



本町自主防災組織の消化訓練

大雨洪水を想定して 防災訓練が実施されました

10月13日、大雨洪水警報が発令されたことを想定して、本町自主防災組織・本町自治会（大江清一会長）、岩富自主防災組織・岩富自治会（細川和司会長）で防災訓練が、津別町商工会（津別町自治会連合会、津別建設業協会、津別町赤十字奉仕団の参加協力を得て実施されました。町では、災害対策本部設置訓練が行なわれ、訓練と課題の掘り起こしを行いました。

本町では、かけ崩れの危険があることを想定し、避難訓練（要援護者避難訓練を含む）、初期消火訓練、避難所運営訓練（炊き出し訓練）が行なわれました。

岩富では、岩富地区の樋門そばにある民家数等が床下浸水の恐れがあることを想定し、排水訓練が行なわれました。



岩富地区の樋門

収穫の秋を満喫

J A つべつ感謝祭2010が開催

10月10日、津別町農業協同組合・活汲事業所前（国道240号線沿い）で、収穫の時期を迎え、日頃の感謝を込めて、津別産農畜産物を格安にて販売する「JAつべつ感謝祭2010」が開催されました。

当日は、雨天にもかかわらず町内外から多くの方が訪れました。

特設ステージで予定されていたイベントが、一部中止になりましたが「つべつ産野菜の販売コーナー」では、野菜高騰の影響もあって、傘を差した人の列ができるほどの盛況で、用意された野菜も短時間で完売になっていました。



菜の販売コーナー」では、野菜高騰の影響もあって、傘を差した人の列ができるほどの盛況で、用意された野菜も短時間で完売になっていました。

tt o w n i c s

まちのわだい

有機作物の味を知ってほしい
新品種「さやあかね」の寄贈を受ける

9月29日、津別町有機農業推進協議会（山田照夫会長）が教育委員会を訪れ、阿部博道教育長へ馬鈴しょの新品種「さやあかね」220kgの目録を贈呈し、山田会長は「化学肥料を使わず生産したジャガイモの味と食感を子どもたちに知ってほしい」と話されました。

贈呈品は疫病に強く安心、安全で美味しい食材として、100kgは学校給食へ、120kgは紅葉マラソン大会の副賞として使用されました。



しい食材として、100kgは学校給食へ、120kgは紅葉マラソン大会の副賞として使用されました。

9月26日、町民会館で、高齢者や障がい者などもすべて一緒に暮らす社会と地域住民とのふれあいを趣旨として「第19回ふれあい広場」（津別町社会福祉協議会主催）が開催されました。

当日は、天候が心配されましたが回復し、豚汁や焼鳥・焼ソバ、でんぶん団子の食べ物コーナーのほか、介護用品販売、健康相談コーナー、リサイクル品を提供するテントなどが並びました。

館内では、第37回友愛セール（更正保護女性会主催）が共催で行なわれ、大勢の人が訪れ賑わいました。



すべて一緒に暮らす社会
ふれあい広場 友愛セール開催

スポーツの秋 紅葉マラソン大会が開催

10月3日、道道屈斜路津別線走り、ゴールのさくら公園（ふれあい公園パークゴルフ場隣接）を目指す「第9回つべつ紅葉マラソン大会」が、4歳から86歳までのランナー303人が参加して開催されました。



大会は「スポーツを通じて友好の絆を深め、健康の増進と体力の向上」を目的に開催されています。ランプの宿・森つべつ前からのハーフコース、10kmコース、5kmコース、3kmコースの4種目に分かれて行なわれました。

色づき始めた紅葉を見ながら、参加したランナーはさわやかな汗を流しました。

児童館フェスタ2010開催 会場内は飾り物でいっぱい



10月2日、児童館「つべつん」で児童館フェスタ2010が開催されました。イベントではパントマイムや風船パフォーマンスなどが行われ、児童館を利用している子ども達や幼児、父母など約150人が訪れ、にぎわいました。

会場では、子ども達によるけん玉やなわとびをしながら一輪車に乗る「子どもステージ」や「もぐもぐコーナー」、「パットゴルフ」など、コーナーごとにいっぱいの飾り物が並べられ、途中で「人KENまもる君」が登場するなど、大人から子どもまで多くの人が児童館のイベントを楽しみました。

青少年海外研修事業によるニュー ジランド研修の出発式が10月6日 に町長室で行われました

参加する生徒は津別高校生の稲垣美穂さん（2年）、五位塚智美さん（2年）、川瀬美乃里さん（1年）、迫田春香さん（1年）、細川夢月さん（1年）の5人で、参加者からは「積極的に話しかけて色々なことを学びたい」「現地の人と深く交流したい」などの抱負が述べられました。佐藤多一町長は「現地の家族に津別のことを紹介してあげてほしい。健康に十分気を付けて最後まで楽しんでください」と海外研修を前に緊張している生徒に激励の言葉をかけました。



他国の文化を学びに
ニュージランド研修出発式